

情 報 公 開 文 書

研究の名称	十二指腸乳頭部腫瘍に対する内視鏡的乳頭切除術の短期治療成績と長期予後の検討
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 内科学（第三） 安田一朗
研究の概要	【研究対象者】 2018 年 6 月から 2024 年 7 月に当院において十二指腸乳頭部腫瘍に対して内視鏡的乳頭切除術を施行した患者さん 【研究の目的・意義】 十二指腸乳頭部腫瘍は上部消化管内視鏡検査の普及により無症状で発見される機会が増加しています。治療法としては膵頭十二指腸切除術などの外科治療が基本ですが、胆管膵管へ進展のない腺腫では局所切除で根治可能であり、内視鏡的乳頭切除術（EP）などの縮小手術の有用性が報告されています。また近年腺腫内癌粘膜癌など一部の早期癌に対する EP に関する報告も増加しています。本研究では当院で EP を施行した十二指腸乳頭部腫瘍の症例について、短期的治療成績と長期予後を検証しその有用性を検討します。 【研究の方法】 2018 年 6 月から 2024 年 7 月に当院において十二指腸乳頭部腫瘍と診断し内視鏡的乳頭切除術を施行した症例を対象として、カルテなどから臨床情報を収集し解析を行います。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日 【利益相反の状況】 公開する利益相反はありません。 【研究結果の公表の方法】 この研究の解析結果は、専門学会への発表、論文化を通じ公表されます。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究で用いるデータの管理は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また対照表は研究責任者並びに分担者が保管・管理します。また、本研究で使用するデータとして年齢、性別、検査所見、病理結果、合併症の有無、術後経過を使用します。他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	富山大学学術研究部医学系内科学（第三）教授 安田一朗
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027

	E-mail junsaka@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 第三内科 医員 阪本洵
--	---